

ふりがな 氏 名	こいしかわ まさふみ 小石川 正文	職 名	教授
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	中学国語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、教職実践演習、作文指導論、日本語文章論、読書指導論 等		
所 属 学 会	解釈学会、日本国語教育学会、早稲田大学国語教育学会(平成 31 年～ 委員)、早稲田大学国文学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教員採用試験対策(前任校)	平成 30 年 4 月～令和 4 年 3 月	中学校、高等学校の国語科教員を志望する 3、4 年生を対象に、論作文、面接(個人、集団)、集団討論等の指導を行った。
教育実習事前指導(前任校)	平成 30 年 4 月～令和 4 年 3 月	学習指導案の作成法から、それに基づく模擬授業の指導、さらには、ケーススタディを取り入れ、現職教員(山梨県教育委員会高校教育課指導主事、県立図書館副館長、県立高等学校国語科教諭等)を招聘し、具体的な事例研究から、喫緊の課題への対応策などの指導を行った。
山梨県総合教育センター「中堅教員等研修」講師 (山梨県教育委員会主催)	平成 30 年 7 月 28 日、 12 月 27 日	高等学校国語科教員を対象に、教材研究の重要性、教職の使命や責務を中心に、併せて今日的な諸課題や教育方法についても詳説した。
「総合的な学習の時間」講師 (山梨県富士河口湖町立勝山小学校主催)	令和 3 年 5 月 11 日	小学校における調べ学習の進め方やアプローチ法を解説し、一例として、地元の歴史と文化を手がかりとする中、「発見する喜び」、「学ぶ楽しさ」、「向学心」等を伝えた。
全国の高等学校への出前授業 演題:「富士北麓の文学-教材との関係から-」	平成 30 年 7 月 18 日 令和元年 11 月 12 日 令和 2 年 3 年 9 日 令和 3 年 9 月 15 日 令和 3 年 10 月 26 日 令和 3 年 11 月 25 日	全国の高等学校からの要請により、出前授業の講師を務めた。 山梨県立吉田高等学校 群馬県立高崎北高等学校 山梨県立富士河口湖高等学校 静岡県立島田高等学校(オンライン) 群馬県立沼田女子高等学校 千葉県立佐原白楊高等学校(オンライン)
教員採用試験対策(リーフレット)指導 (児童教育学科児童教育学専攻 3、4 年)	令和 4 年 4 月～	愛知県、名古屋市、三重県、岐阜県、横浜市、川崎市などの教員採用試験を受験する児童教育学専攻の 3、4 年生を対象に、個人面接、集団面接、場面指導、集団討論、ディベート、小論文対策指導を実施した。
公務員(保育職)試験対策(めばえ)指導	令和 4 年	愛知県、名古屋市の各自治体の公務員試験(保育職)試験

事 項	実 施 年月(日)	概 要
(児童教育学科幼児保育学専攻 3、4 年)	4 月～	を受験する幼児保育学専攻の 3、4 年生を対象に、エントリーシートの書き方、個人面接、集団面接等の対策指導を実施した。
中学校教育実習の手引	令和 5 年 4 月 1 日	中学校教育実習とその事前指導に使用する手引の改訂新学習指導要領の全校種の実施に伴い、小椋郁夫、榊川知、竹内正裕と、内容の修正・追加をする。
山梨県立富士河口湖高等学校学校評議員	令和 4 年 4 月～	山梨県立学校管理規則第 15 条 9 により設置の、学校評議員として、校長の求めに応じて、学校運営に関し意見を述べた。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	めでしきみはも	単	平成 31 年 2 月 27 日	藤華文庫(私家版)	各勤務校の紀要等に発表した 主な文章を編纂した抄録。
	大学的富士山ガイド-こだわりの歩 き方 (ISBN978-4-81221-919-5)	共	令和 2 年 2 月 29 日	昭和堂	都留文科大学編 著者:小石川正文ほか 15 名 全 244 頁中、「文学散歩 富士北 麓と文人たち」(pp.34-31)を執筆
論 文	高等学校古典学習への提言-次期 学習指導要領を視野に-	単	平成 30 年 3 月 22 日	国文学論考(都留文科大学 国語国文学会編)第 54 号	pp.22-31
	「親しまれている言葉」からの指導 について-いろはガルトを手がかりに-	単	令和 4 年 12 月 13 日	児童教育論集(名古屋女 子大学文学部児童教育 学科編)第 6 号	pp.53-60
	小石川正文特任教授 略歴・業績 目録 「視点」	単	令和 5 年 3 月 20 日	国文学論考(都留文科大学 国語国文学会編) 第 59 号(鈴木武晴教授・ 小石川正文特任教授退 職記念号)	pp.44-49
学会発表	第 84 回 国語教育全国大会 校種別分科会 高等学校 「話すこと・聞くこと」 指定討論者	単	令和 3 年 9 月 20 日	日本国語教育学会主催 (オンライン開催)	研究発表要旨:『月刊国語教育 研究』2022.2 No.598 p.46
その 他	〈現場から〉菁莪育才	単	令和 2 年 3 月 30 日	早稲田大学国語教育学 会 『早稲田大学国語教 育研究』第 40 集	p.100(全 117 頁)
	元県立文学館長・近藤信行さんを 悼む	単	令和 4 年 7 月 20 日	山梨日日新聞電子版「さ んにち Eye」の「ニュース Eye」	